



2020年6月10日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之  
(コード番号 7779 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二  
部 門 責 任 者  
(電話 029-869-9981)

## AI 医療画像診断をリードするエルピクセル社に追加出資 ～ 実質的な外部筆頭株主として、医療用 AI を強化 ～

CYBERDYNE 株式会社（茨城県つくば市、代表取締役社長：山海嘉之、以下「当社」）は、AI 医療画像診断のリーディング企業であるエルピクセル株式会社（東京都千代田区、代表取締役：鎌田富久・島原佑基、以下「エルピクセル社」）に対し追加の資本出資を行い、実質的な外部筆頭株主として、同社との協業により医療用 AI を強化することを、お知らせいたします。

### ■ 経緯

当社は、当社のサイバニクス技術と、エルピクセル社が強みとする AI 医療画像診断技術を融合・複合させることにより、医療画像ビッグデータも含めた革新的な医療技術の開発を目指し、2018年10月に業務提携及び資本提携を行いました。

本提携以降、エルピクセル社は、脳動脈瘤の疑いがある部分を検出する医療画像解析ソフトウェア EIRL aneurysm (エイルアニューリズム)が、深層学習を活用した脳MRI 分野のプログラム医療機器として、2019年9月に日本国内で初めて医療機器承認を取得するなど、着実に事業が進展しています。

本日、エルピクセル社からの発表の通り、同社の元取締役による業務上横領が判明したことに伴い、同社は社内管理体制の見直し、監査体制の強化、経営管理体制の強化等を進めています。当社は、エルピクセル社がこれまで蓄積してきた本質的な事業価値を評価し、この度、ガバナンス強化による再発防止を条件として、株式会社ジャフコ及び TomyK Ltd.と協調して追加の資本出資を行い、本ラウンドのリードインベスターとして、同社との協業により医療用 AI を強化することといたしました。

### ■ 今後の見通し

本件による当社の 2021 年3月期の連結業績に与える影響はないと見込んでいますが、開示すべき事項が生じましたら、速やかに開示いたします。

### ■ 参考リリース

医療画像診断支援技術を開発するエルピクセルと提携 (2018年10月29日)

[https://www.cyberdyne.jp/wp\\_uploads/2018/10/181029\\_NEWS\\_LPixel.pdf](https://www.cyberdyne.jp/wp_uploads/2018/10/181029_NEWS_LPixel.pdf)

(エルピクセル社) 元取締役の逮捕について (2020年6月10日)

<https://lpxel.net/news/press-release/2020/10039/>



#### <CYBERDYNE 株式会社について>

当社グループでは、人とテクノロジーが共生し相互に支え合うテクノ・ピアサポートを軸とした未来社会「Society5.0/5.1」の実現、社会変革・産業変革の実現を目指し、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を扱う「サイバニクス技術」(人・ロボット・情報系の融合複合技術)を駆使して、「ロボット産業」「IT産業」に続く「サイバニクス産業」の創出を推進しています。

当社の先端技術の独自性と優位性は、医療、福祉、生活・職場、生産の分野において、IoH/IoT化(ヒトとモノのインターネット)、ロボット化、AI化されたHALに代表されるサイバニクスシステムをプラットフォーム化し、脳神経系・生理系から行動・生活系に至る様々なビッグデータをクラウドやスパコンとつなぎ、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を融合していく点にあります。当社のデバイスやインターフェースで得られた全てのIoH/IoTビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI処理等を実現してまいります。また、『サイバニクス産業』の創出を加速させるため、様々な事業連携も同時並行で進めています。詳細は、<https://www.cyberdyne.jp> をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

CYBERDYNE株式会社 広報・IR 担当

TEL: 029-869-9981

以 上